

令和7年度

家庭学習の手引き

(7～9年生用)

1 家庭学習の手引きについて

中学校の学習は、将来生徒が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力しています。さらに家庭と連携することで、より確かな学習の定着が図れるのではないかと考えます。

そこで、家庭学習の手引きを作成しました。保護者の皆様には、お子様と一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

2 家庭学習を通して身に付けたいこと

① 主体的に学習に取り組む態度

○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする。

○粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする。

- ・家庭学習の取り組み方を見直し、さらにより学習になるよう改善に努める。
- ・得意なところを見付け、さらに伸ばせるように努める。
- ・苦手なところを見付け、その克服に努める。 など

② 基礎的・基本的な学習内容の定着

おおまかに言うと、学校で学習する内容（教科書にのっている内容）です。特に、次のような学習内容は学年間でつながりをもっていますから、学習した学年で確実に身に付けておかないと次の学年で困ることになります。

- ・教科書に出ている程度の文章をすらすら読むこと
- ・教科書に出ている漢字を読んだり書いたりすること
- ・教科書に出ている内容を使って問題を解いたり作ったりすること
- ・自分の考えを正確に伝えること

③ 学習習慣の確立

一日の生活の中に家庭学習の時間が位置付けられ、継続して一定の時間の学習ができるようになることです。本校では、家庭学習に取り組む時間の目安として、【学年×10分＋10分 以上】を推奨しています。

④ 様々な資質・能力の育成

家庭学習を毎日継続することで、社会人として必要な資質・能力が育成されます。

- | | | | |
|--------------|-------------|---------|--------|
| ・ 自己判断力 | ・ 課題発見力 | ・ 自己解決力 | ・ 思考力 |
| ・ 表現力 | ・ 集中力 | ・ 学習意欲 | ・ 自尊感情 |
| ・ 生活リズムを整える力 | ・ 自己コントロール力 | など | |

3 家庭学習の内容や方法

興味・関心、学習の定着状況、自分にあった学習方法など、児童生徒一人一人みな違うことから本校では、自ら課題を見つけて行う学習を推奨しています。「やらされる」から「自ら考えてやる」へ、「教わる」から「学ぶ」へなど、学習観を転換し、自分のニーズにあった学習を、自分に合った方法で進めていくことが大切です。このような学習ができるようになると、学力向上はもちろん、計画力、自己調整力、粘り強さ、自立心等も養われます。

学校においても、家庭学習の充実が図れるよう、必要に応じて課題を提示する場合があります。

ご家庭におかれましても、学習できる環境を整えたり、学習している様子を見て温かい励ましや肯定的な言葉をかけたりしていただけると、お子様の家庭学習の充実が図られ、学ぶ意欲や学力の向上につながります。

<主な内容例>

- ・ 授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる
- ・ 授業で解いた問題やテスト（小テスト、単元テスト、定期テスト）の問題をもう一度解く
- ・ 学習したことに関係あることを資料などでさらに調べてまとめる
- ・ ワーク（漢字ノート、数学ワーク、理科ワーク、社会ワークなど）を進める
- ・ タブレット活用→eライブラリ
- ・ 授業で学習したことから疑問に思ったことや発展的な内容をさらに課題として設定して挑戦する